

きずな

2011年 6月23日

NO 842

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

6月13日、井原市議会6月定例会が開会しました。会期は6月29日までの17日間です。一般質問は、17日、20日、21日の3日行われました。森本議員は、21日に質問しました。質問と執行部答弁の概要は次のとおりです。

森本ふみお議員の質問の概要

◆施設内に洋式トイレのない幼稚園、小学校、中学校に早急に設置を

現在、施設内に洋式トイレが設置されていないところは、幼稚園で13園中8園、小学校で13校中7校、中学校で5校中1校という状況です。

膝を曲げるのが難しい方のために、洋式トイレが設置されていない幼稚園、小学校、中学校に早急に設置してはどうですか。

また、小学校・中学校で1カ所あるところは、より効果的な場所に複数の洋式トイレを増設しては。

◆在宅血液透析（HHD）患者の電気代、水道代の支援制度の創設を

井原市には県下で初めてのケースだそうです。在宅で血液透析（HHD）を行っている患者さんがおられます。自宅で透析すれば、毎日仕事に行きながら、仕事から帰って自宅で透析ができるという大きなメリットがあります。

しかし、家庭内で透析のできる設備をするなどの環境づくりにかなりの経費がかかること、また、毎日の透析の中で、電気代とか水道（公共下水道）使用料などが今までより1か月で1万円前後増加することになります。

そこで、患者さんの尊い命を守るという観点から、全国の自治体に先がけ、市独自で電気料・水道（公共下水道）使用料の一部を援助する支援制度を創設してはどうですか。

◆井原市地域防災計画の見直しを

国、県でも災害対策基本計画の見直しをするようです。また、東海、東南海、南海地震が同時に発生することも考えられるという状況の中で、井原市も現在の震災や洪水の発生状況や規模の判断に基づいて計画を作成していることで果たして十分なのかということも含め再検討し、全体的な見直しをする必要があるのではないかと考えますがどうですか。

震災の影響や未曾有の集中豪雨のため小田川の土手が決壊し、市内が浸水したという場合に、市の地域防災計画やハザードマップで示されている今の避難場所や避難方法で果たして良いのか、そして、いざという時の非常食や毛布などの非常物資は果たして十分なのか、緊急時の対策が市民に周知徹底されているのかなど、市の地域防災計画の災害対策編や風水害等対策編及び資料編を見て強く感じているところです。

井原市も現在の震災や洪水の発生状況や規模の判断で十分なのかということを含めて再検討し、全体的な見直しをする必要があるのではないかと思います。市の考えを伺います。 **2面左上へつづく**

左の質問に対する執行部答弁の概要

体育館で様式化されていない施設については、本年度中に改造工事を実施します。

職員用トイレで、様式化されていない箇所は、幼稚園で13園中8園、小学校で13校中7校、中学校で5校中1校です。

今後、各園各校とも洋式トイレを一基以上設置するよう積極的に取り組んでいきます。



井原市の透析者は、平成22年度末で117人となっており、（井原市で）県下で初めてのケースとして、在宅血液透析による治療を行っている方がおられます。

在宅血液透析は、有効な治療法と認識していますが、反面在宅でのリスクを伴う治療法であること、現状で実施する医療機関また症例や資料が極めて少ないことも踏まえ、支援制度の創設については、更に医療現場の動向に注視すると共に、情報の収集と調査・研究に努める必要があると考えており、今後の課題として検討してまいります。

通院に対する助成というのがあるわけで、在宅だけが自己負担というのは、私もいかなものかということとは当然認識はしています。

福祉基金でという提案ですが、今後、福祉基金の要項を含めて検討していきたい。

3月11日発生 of 東日本大震災を受けて、国では防災基本計画を進めており、早ければ秋には国の計画の見直しがなされ、県でも今年度中に岡山県地域防災計画を見直しと聞いています。

本市の地域防災計画の見直しについては、県の見直し計画を踏まえ、平成24年度の早い段階で行いたいと考えています。

市民の皆様には平素から住まいの周りの危険箇所等を把握していただくと共に、有事の際には安全な避難活動が行えるよう、避難場所の特長について把握していただくなど、災害に備えていただくようお願いいたします。

備蓄品については、現在非常食は1,300食、毛布200枚、簡易トイレ50個を備蓄しています。計画見直しの際には、備蓄数量についても当然見直します。

井原町内の洪水に対する避難訓練をということでは、自治連合会、協働のまちづくり市民推進室等としっかりと協議をして、一緒に考え取り組んでいきたいという強い気持ちを持っています。

2面右上へつづく

1面左下からつづく

◆観光行政の充実・改善を

井原市に来られる観光客の増加を目指すと同時に、観光客の立場に立って、観光行政の充実・改善を。

- 1) 相原公園の桜の木の状態が非常に悪く、ここ数年花の咲き具合が悪くなっています。このままでは桜の名所でなくなってしまう。抜本的な改善策を。
- 2) 田中美術館前で、同館の特別展の期間限定で、市内の関係業者の組合と相談をされて、弁当や菓子の販売をしております。
- 3) 井原市の玄関である井原駅周辺のバス乗り場の滑り止めの拡充、ブロックの補修、階段踊り場の段差の補修などを含め、積極的に不備な点を見つけ、すすんで改修・改善をしております。
- 4) 主要道路の交差点などの要所要所に、井原市へ観光に来られた観光客が、井原市外への主な観光地が分かりやすいように、案内道路標識を設置するなど、近隣市町にも働きかけ充実・改善を。
- 5) 春には小田川両岸の桜は見事な花を咲かせています。しかし、最近では、この桜前線の報道がテレビや新聞などでまったくされていないようです。マスコミにしっかり情報提供し、報道してもらえるようにすべきではないですか。

◆教育委員会主催で、市内の外部講師を招いて講演するシステムの構築を

現在、各学校で独自に外部講師などを招いて、児童・生徒や保護者を対象に様々な内容の講演を実施しているようです。人生経験豊富な講師や、匠の技をお持ちの講師の講演を聴くことは、将来の人生に多くの教訓や示唆を与えることとなり、非常に有意義なことだと思えます。

そこで、各学校での取り組みと合わせ、井原市全体としても教育委員会が主催し、主に市内在住の外部講師を招き、講演などを開くシステムを。

◆市内全幼稚園で3歳児の受け入れを

今は、夫婦と子供だけという、核家族化が進み、子どもを幼稚園や保育園に通わせながら共働きする夫婦がたくさんおられます。

現在、市内の幼稚園で3歳児を受け入れているのは、青野・野上・美星の3園だけです。この3園だけでなく、市内全幼稚園で3歳児の受け入れを。

◆市民ギャラリーでの催しを「広報いばら」等で積極的にお知らせを

市民ギャラリーは文化教室の生徒さんたちの作品発表の場などとしてよく利用されています。しかし、市民の方々に市民ギャラリーで行われる展示等の開催状況がほとんどわかりません。

多くの入場者があれば、文化協会の生徒さんたちも励まされますし、文化協会の各教室も一層活発になると思われます。そこで、営利を目的とした催し以外を、例えばですが「広報いばら」の「情報ひろば」でお知らせをすとか、来月の催しをその前月末に市内の公共施設に掲示すとかという方法等で積極的に市民のみなさんに情報提供するようにしてはどうですか。

1面右下からつづく

- 1) 今後、回復の見込みのない桜については、他の桜の状況を見極めながら伐採処分し、年次計画で植栽していきたい。
約300本のうち樹勢が衰えているのが200本程度なので、本年度高さが約3mから3.5m程度の桜を20本程度植え替えます。
- 2) 関係業者2組合に相談しましたが、現状では難しい。
- 3) ご指摘の不備な点の滑り止めは早急に全面補修します。あとについては、今年度中に補修します。駅施設の点検は早急を実施します。
- 4) 国道・県道と接続している市道の交差点や美星町、青野町の観光施設から他市への接続となる市道の主要交差点に年次的に案内標識を設置します。
- 5) これまで各報道機関には様々な形で報道をしていただいています。採り上げていただけない他の放送局や新聞社に対しては、井原堤を採り上げていただくよう強くお願いします。

「ふるさと人材バンク」を平成20年度に設置しており、現在、62人の皆様に登録していただいています。更に昨年度末には「子育て講座講師リスト」を作成し関係団体に配布しております。

教育委員会が主催する講演会等の開催趣旨にあった講師が市内におられれば、更に講師の登録をお願いし、今後とも「ふるさと人材バンク」や「子育て講座講師リスト」を充実させると共に、関係機関に配布し情報提供をしっかりとしていきます。



平成21年3月に「井原市就学前教育検討委員会」において「幼稚園における3歳児教育の重要性に鑑み、導入を進めるよう」答申をいただき、実施・拡大にむけて検討・協議を進めています。

平成24年度より施設、設備、人員配置等が整った園から順次実施します。出部については新築しますので、それに合わせて新年度から募集します。

最近3年間の入館者及び利用状況は、平成20年度が17件4,411名、平成21年度が16件4,371名、平成22年度が19件4,917名の利用がありました。

PRにつきましては、年4回発行している「いばら文化協会だより」を「広報いばら」に折り込んでいますが、今後は、市のホームページや、市の毎月の催しを知らせるチラシ、市民ギャラリーイベント情報を公共文化施設に掲示するなどして、今まで以上に積極的に市民の皆様へ情報提供していきます。



この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます